

CTP Newsletter

ニュージーランド出身香取市国際交流員
花田・卓也・サミュエル (サム)

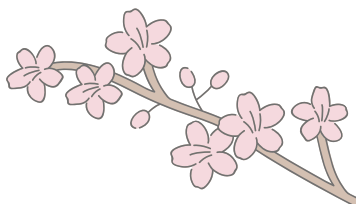
夏といえばお祭り！

暑い日が続いていますね！市内ではいろいろなお祭りが行われていますが、行かれたか？実はこの間、佐原の大祭に参加したので、今回のニュースレターではその体験についてお話したいと思います！また、今月で来日してから1年になるので、この1年で学んだことや感じたことをまとめたいです。

佐原に引っ越してきてから、佐原の大祭について、そして市民にとってどれほど重要なものであるかについて、よく聞きました。ニュージーランドにはこのような規模の祭りがないので、昨年の秋祭りを見に行った時に感動しました。それを見て、できることなら祭りに参加したいと思いました。タイムリーなことに、昨年11月、下仲町の特別曳き廻しを見に行ったとき、職場の同僚に会い、下仲町のメンバーとして祭りに参加しないかと誘われました。



海外から佐原に来たばかりで、誰も知りませんでした。最初の練習から下仲町の皆さんが温かく受け入れてくれました。最初から、皆さんがとても親切してくれて、佐原に来て初めて、コミュニティーの一員になれたと感じました。ニュージーランドにいた頃は、地元のお祭りやイベントがあまりなく、コミュニティーに参加することが難しかったです。私はここで、ホームとコミュニティーの感覚を感じています。



参加できただけでなく、いろいろなことに挑戦できたという意味でも貴重な経験だと思っています。もちろん山車を押したり引いたりしましたが、歌、踊り、のの字廻しなどもできました。また、山車の前でテコを持つこともできました。テコは最も重要なポジションのひとつであり、祭りに参加するほとんどの人がそれを求めています。私の体力では5分ほどしか運べなかったけれど、それでも嬉しかったです。



今年はお下町にとって特別な年で、神輿を担ぐ年番でした。各区は10年に1度しか担ぐことができないので、今年できたことはラッキーだったと思います。皆さんが見てない祭りの準備もたくさんありました。山車の準備、踊り練習、片付け、打ち上げなど、最初から、最後まで面白かったです。来年の祭りに参加するのも楽しみで、秋祭りも機会があれば参加したいと思っています。



8月20日で日本に来てから1年になります！

日本には何度も来たことがあり、若い頃から親と日本語で話していたにもかかわらず、移住した当初は自分の日本語にまったく自信がなかったです。最初の数週間不安しかなくて、何か言われたことが理解できなかつたり、渡された書類が読めなかつたり、ずっと悩んでいました。しかし、来日して1年経った今、私はとても自信と快適さを感じています。数ヶ月経ってから、皆さんから信頼されるようになるにつれて、仕事量やできることが段々増えてきました。現在、このニュースレターをしたり、フェイスブックのページを運営したり、翻訳をしたり、ニュージーランドの文化を説明したり、イベントを手伝ったり、姉妹都市サイパンの通訳をしたりしています。将来、新しいことをするのも楽しみにしています。

仕事以外の面でも大きく成長できました。去年は初めて一人暮らしをし、請求書や日常生活には重要なことを自分で管理するようになりました。また、住めば住むほどアットホームな場所になり、地元で友達を作り、この街の文化や歴史を学び、コミュニティーに参加することができるようになりました。



最初の週に撮った写真。

このニュースレターには書ききれないほど、今年私がしたこと、学んだことはたくさんあります。次の1年も、もっともっとたくさんのことを学び、経験することをしたいと思います。このニュースレターやフェイスブックを通じて、これまで私の活動にお付き合いくださった皆さん、本当にありがとうございました！これからも皆さんのサポートよろしくお願いたします。



FacebookのLittleEdoSawaraで香取市での生活や観光、ニュージーランドと日本の文化の違いなど多く発信しています。日本語でも文書を書いているので、見ていただけたら嬉しいです。これから他のことも挑戦してみたいと思っているので、英語・企画・お手伝いでも何かあれば、是非3階の商工観光課でお声掛けください！

